

社会保障政策 課題

締切 6月18日(月) 12時

以下の2問に答えなさい。解答用紙は、A4を使用し、学生証番号・氏名を明記。様式・枚数は問わない。

【1】

2期間ライフサイクルモデルを考える。消費者の効用関数は、現役期と引退期の消費の対数関数

$$\ln c_0 + \ln c_1$$

で表されるとする。しかし、この消費者は近視眼的で、現役期の消費と貯蓄の決定を

$$\ln c_0 + \lambda \ln c_1$$

という効用関数のもとで意思決定すると考える。

(1) 現役期の所得を1、金利を r として、近視眼的な消費者の消費水準を求めなさい。現役期の消費水準について、消費者が近視眼的でない場合と近視眼的な場合の大小関係を示しなさい。

(2) 賦課方式の公的年金が導入され、人口成長率をゼロとすると、現役期の保険料 θ が引退期の年金給付になる。借入ができないとすると、現役期の可処分所得が近視眼的な消費者が選択しようとする消費水準より小さい場合には、現役期の可処分所得と消費が等しくなり、結果的に消費者の効用関数は

$$\ln(1-\theta) + \ln \theta$$

となる。 r が1、 λ が0.9のとき、年金が導入されない場合と、ここで説明したような年金が導入された場合の効用を比較し、年金の導入のメリットがあるかどうかを、説明しなさい。

(2)の数値計算では、 $\ln 0.5 = -0.693$, $\ln 1.8 = 0.588$, $\ln 1.9 = 0.642$ で計算しなさい。

【2】

つぎのblogを読んで、ベッカー教授が能力と努力と教育をどのようにとらえているのか、整理しなさい。

http://www.becker-posner-blog.com/archives/2006/04/is_the_increase.html